

「湘南支部を歩く」第 1 回

八木 関三

湘南支部のみなさん こんにちは。

コロナ禍で近所の散歩しかできない状態が3年ものあいだ続いて、本当にお疲れ様でした。しかし 2023 年春にはコロナもようやく収束し、「歩く」という私たちの夢を実現できそうです。あなたが歩きに行きたいところや風景を求めて、一歩踏み出してみませんか！

湘南支部は嬉しいことに相模湾に沿って西から東へ、また三浦半島は南へと伸びています。あなたの住まいからほんの少しだけ電車か車で移動すれば、素晴らしい自然と歴史を感じられる街並みに出会えます。そこで僭越ではありますが、私が過去に訪れた湘南支部の各地を、春夏秋冬の季節に合わせ、4回に分けて写真とエッセイでご案内させていただきます。興味を持たれたエリアがありましたら、湘南支部各地の素敵な景観と美味しいものを求めて、西や東へ、あるいは北から南へと出かけてみてください。

ここでは湘南支部を地域別に分けて、箱根から平塚までの「県西部」、藤沢・鎌倉などの「県中部」、逗子～横須賀までの「三浦半島」の3エリアに、そして「横浜市内」の見どころも加えて、季節ごとにピックアップしてご紹介します。第1回は秋の散策おすすめコースです。

私のつたない文章と写真を眺めていただくことで、皆さんが外歩きに踏み出され、少しでも元気になっていただけたら嬉しいです。どうぞよろしくお願ひします。なお、エッセイは私が現地を訪れて感じたことを思いつくままに述べています。また写真は私の小型カメラで撮影したものですから、ボケてるものもありますがどうかご容赦ください。

*皆さんがお出かけになる際は、ネットなどで最新の情報や行き方の確認をお願いします。

第 1 回 秋から師走にかけて訪れたい公園、愛でたい花々、立ち寄りたお店

【県西部】大磯、城山公園と吉田邸・・・城山(じょうやま)公園は「吉田茂氏の大磯邸宅と旧三井家別荘の庭園」とを一体的に整備した公園です。吉田邸は平成29年に綺麗に再建されました。屋内を見学すると、戦後の厳しい日本の社会が急速に立ち直っていくことを示す歴史的な資料を目の当たりにすることができます。また、庭園から海岸にかけて散策すると、海に向かって はるか遠くの地(ワシントン)を見つめる吉田公の像に出会えます。



一方の三井家庭園は、広大な敷地で構成され小高い休憩所からは西に富士を、南に相模湾を眺めることができます。建物としては国宝を模した茶室があり一見の価値があります。庭の椅子で花を眺めながら和菓子と抹茶(有料)をいただくと、心が落ち着きます。2つの庭園はいずれも小さい坂道や石段があるので、スニーカーでお出かけ下さい。



城山公園への行き方・・・JR大磯駅からバス二宮駅行きで約15分、車であれば国道1号線「城山公園入口」すぐです。駐車場Pは2つの庭園の両方にあり、どちらに駐車しても接近していますが、三井家のPは広くて平日は無料です。尚、近くに食事の店はありません。

【県央部】 県央で初秋から暮にかけて訪れたい場所といえば、鎌倉市内北東部にある2つの庭園で、和の一条恵観山荘と洋の華頂宮庭園です。鎌倉といえば数多くの神社仏閣が頭に浮かびますが、それらの殆どは歴史的建造物であり、鎌倉～室町時代の戦乱の名残を今に残すものと言えます。しかし、ここで紹介する2つの庭園は浄明寺エリアで近接しており、明るくまたしっとりとした情緒を感じさせる庭園と言えます。一条恵観山荘の和の趣きと、華頂宮庭園の洋の雰囲気とを半日で味わうことができる、おすすめのコースです。

一条恵観山荘は江戸時代初期に京都の地に建てられたものを昭和34年に鎌倉に移築しました。園内の樹々は、春から夏にかけては緑が茂り、また11月下旬には息を飲むほどの紅葉一色になります。

京都の桂離宮と同時代の建物だけに風格を感じさせますし、庭をそぞろに歩くと心が和みます。内部の見学会は事前の申し込みが必要です。



一方の華頂宮庭園は昭和4年に華頂宮侯爵邸として建てられたもので、洋風建築と西洋式庭園がその特徴であり、芝生の向こうの荘厳な建物を見ると、鎌倉の地にこんな風景があるのか！と不思議な気持ちになります。



山荘と庭園への行き方・・・鎌倉駅東口バス④乗場から、浄明寺バス停で下車。一条恵観山荘は街道沿いに東へ徒歩3分。華頂宮庭園は報国寺入口の四つ角から南へ徒歩5分で到着します。

【三浦半島】 くりはま花の国や観音崎周辺は秋の散策も楽しいものです。花の国ではコスモスやポピーが咲き誇っています。広い園内は高低差もあるので、登りはトロッコ列車に乗り楽々と、下りのはのんびりと歩いてコスモスの花と触れあうのもいいですね。

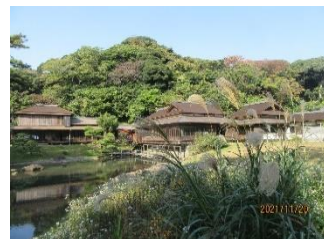


観音崎近辺で素敵な気分になれるのが、旧京急観音崎ホテルの海沿いの遊歩道です。バス道を挟んで山側には横須賀美術館、海側にはホテルが建っていて、脇の小径を下ると海沿いの遊歩道にでます。道沿いに設けられたベンチに座り、東京湾をゆったりと航行する大型船を眺めていると、本当にのんびりできます。ここでお握りを食べるのが最高ですが、美術館内のレストラン(アクアマーレ)のランチもお手頃価格で美味しいです。ただし、予約ナシでは小1時間は待つこととなりますが、海を眺めて待つのも一興です。観音崎ホテルは屋上の露天風呂で寝そべりながら海を眺めるのが最高でしたが、現在は再建築中のようです。行き方・・・京急馬堀海岸駅から観音崎灯台行きバスで10分。

【横浜市内】 横浜市でこの季節に散策をお勧めしたい1つ目は港の見える丘公園です。園内の展望台からは横浜の港やレインボーブリッジ、扇島の工場群までもパノラマで見ることができます。広い園内にはバラを中心に花壇や噴水が整備されて、気持ちの良い一刻が流れていきます。また、園を出ると外国人墓地や明治時代の西洋館が点在し、明治期の外人さんの香りがします。丘公園の周辺や元町通りにはイタリアン・レストランが点在していますが、料金は少し高めになります。丘を下って中華街まで足を伸ばすも良いでしょう。



2つ目のおすすめは本牧の三溪園(写真右)です。ここは明治の実業家・原三溪の屋敷と庭園で、広々としているのに、落ち着きを感じさせてくれる名園です。晩秋の平日に訪れると静けさも相まって至福の時を得られることでしょう。ランチは園内の茶店よりは、正門横の蕎麦店小島屋がおすすめ。



三溪園への行き方・・・JR 根岸駅から市営バス、本牧バス停下車。(第1回了)